

国際協力機構（JICA）について

【人間の安全保障】

すべての人々が様々な脅威から身を守り、安全に暮らし尊厳をもって生きることのできる社会を目指す



人々

すべての人が健康で安全に
生きることができる社会

- 教育
- 健康
- 社会保障



平和

恐怖や暴力のない、平和で
公正な社会

- 紛争の発生や再発を防ぐための国家建設
- 政府の支援
- ジェンダー平等と女性および女子のエンパワーメント

【質の高い成長】

自然環境を損なうことなく格差の少ない持続可能な成長を促進



豊かさ

社会の発展を促進させる準備が
整っている、自然と調和のとれた
豊かで持続可能な経済

- 農業・農村開発
- 民間セクターの開発
- 都市・地域開発
- 安価でクリーンなエネルギーへのアクセス確保
- 交通インフラの開発



地球

地球にやさしく

- 環境保全・管理
- 水資源管理
- 災害リスク軽減
- 気候変動

● MENA・欧州

23 カ国／地域が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥769 億



地域ごとに 見る事業の規模



● 東・中央アジア

10 カ国が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥473 億

● ラテンアメリカ・
カリブ海

30 カ国が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥338 億

● サブサハラアフリカ

49 カ国が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥1033 億



● 南アジア

8 カ国が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥7780 億

● 東南アジア・
太平洋地域

23 カ国が
支援対象

JICAプログラムの総額

¥6012 億



*この図には、複数の国および／または地域、ならびに国際組織との協力事業は含まれていません

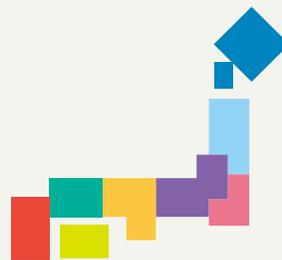
数字で見 るJICA



96

海外拠点数

(2020年7月1日現在)



14

国内拠点数

(2020年7月1日現在)



1,929

職員数

(2020年7月1日現在)



150

支援を受けてきた国・地域の数

(2019年度)

人と人の関係を構築することは 信頼の礎です

JICAは途上国に専門家や海外ボランティアを派遣し、政府関係者やスペシャリストを研修生や留学生として受け入れています。人材育成を通じて築かれる人と人とのつながりは、開発途上国と日本との信頼の礎です。

受入人数

2019年度は、途上国から
13,217名の研修生・留学生
を受け入れました

13,217人



派遣人数

2019年度は、9,163名の日本人
専門家とJICAボランティアを派遣
しました

9,163人

事業の概要

JICAは様々な開発援助スキームを活用して、世界各地の開発途上国の多様なニーズに応えています。

JICAのボランティアプログラム

市民参加

ラテンアメリカ・カリブ海の日系コミュニティとのパートナーシップ

災害緊急支援

調査研究

官民パートナーシップ

技術協力

金融協力・投資協力
(ODAローン)

無償資金協力

JICA Traffic Safety Related Projects

JICAの経験(道路交通安全分野での主な協力実績)

ケニア国:技術協力プロジェクト(計画中)

・C/P機関 :ケニア国家警察、国道公社等
・歩行者の交通事故死者数が多いのが特徴。
エビデンスベースの取締り計画・取締り技術の
移転、他ステークホルダーを巻き込んだ交通
安全対策を実施。



警察ステーション
執務室内の様子
(現状)

ウズベキスタン:個別専門家

2023年協力開始。交通事故情
報の収集・分析、広報活動を
実施。

ネパール:海外協力隊派遣 (ボランティア)

日本より警察OB等のシニア
ボランティアを継続的に派遣
し、カトマンズ首都圏交通警
察局(カトマンズ)にて、交通
安全活動の支援。

タイ国:技術協力プロジェクト (2020年~2024年)

・C/P機関 :運輸省、タイ国
国家警察
・自動車交通量の増加によって
交通事故が多発しており、交通
事故死者数の多さは、世界的
に見ても上位。交通安全事故
分析を実施し、事故多発地域
の改善を支援。



警察への事故捜
査トレーニング

カンボジア国:技術協力プロジェクト (2021年~2025年)

・C/P機関 :公共事業運輸省、保健
省等
・経済成長が見込まれる中、国道5号
線をはじめとする幹線道路における
道路交通安全に関する対策を実施。



安全運転自己診
断の実施状況

コートジボワール:無償資金協力

2019年完成:アビジャン交差点改良。
立体交差の双方向化による交通容
量の更なる増強により、交差点の安
全性の向上に寄与。

ガーナ:無償資金協力

2020年完成:テマ交差点立体化。朝・
夕は通勤交通等により渋滞。交差点
立体化により交通の利便性及び安全
性の向上に寄与。

タンザニア:有償資金協力

2020年事業開始:アルーシャ-ホリリ
間道路改修事業。4車線化により歩
行者・自転車・自動車交通の安全性
向上。

タンザニア:無償資金協力

2017年完成:ダルエスサラーム交差
点改良。交差点内で発生していた接
触事故等が大幅に減少し、交通安全
の向上が図られることが期待。

ベトナム:技術協力プロジェクト/有償 資金協力

2006年~2009年(ハノイ交通安全人材
育成)。2010年~2013年(交通警察官
研修強化)。2014完成:ベトナム北部
国道交通安全強化事業。交通規制、
取締り、交通管理等の能力向上に寄
与。登録台数の増加にも関わらず多く
の省において死者数は減少。(例)ハ
ノイ市では約3割減。

バングラディッシュ国:技術協力プロジェクト(2021年~2025年)

・C/P機関 :ダッカ首都警察
・交通安全教育・交通安全事故収
集に係る支援やパイロット事業など
を行い、これら一連の活動を通じて
ダッカ首都警察の道路交通安全対
策能力向上を実施。



学校での安全教育

カンボジア:有償資金協力

2013年事業開始:国道5号線改修事業。
沿線地域の交通安全対策を通じた交
通事故死者数の減少が期待。

課題別研修(全世界対象)

2018年~2020年:交通警察行政研修。
2019年~交通安全研修。計33カ国よ
り80名を超える短期研修員を受入。
我が国の交通戦争の経験そして2000
年代以降の取り組みを学ぶことを通じ、
交通安全対策にかかる講義・視察を
網羅的に提供。



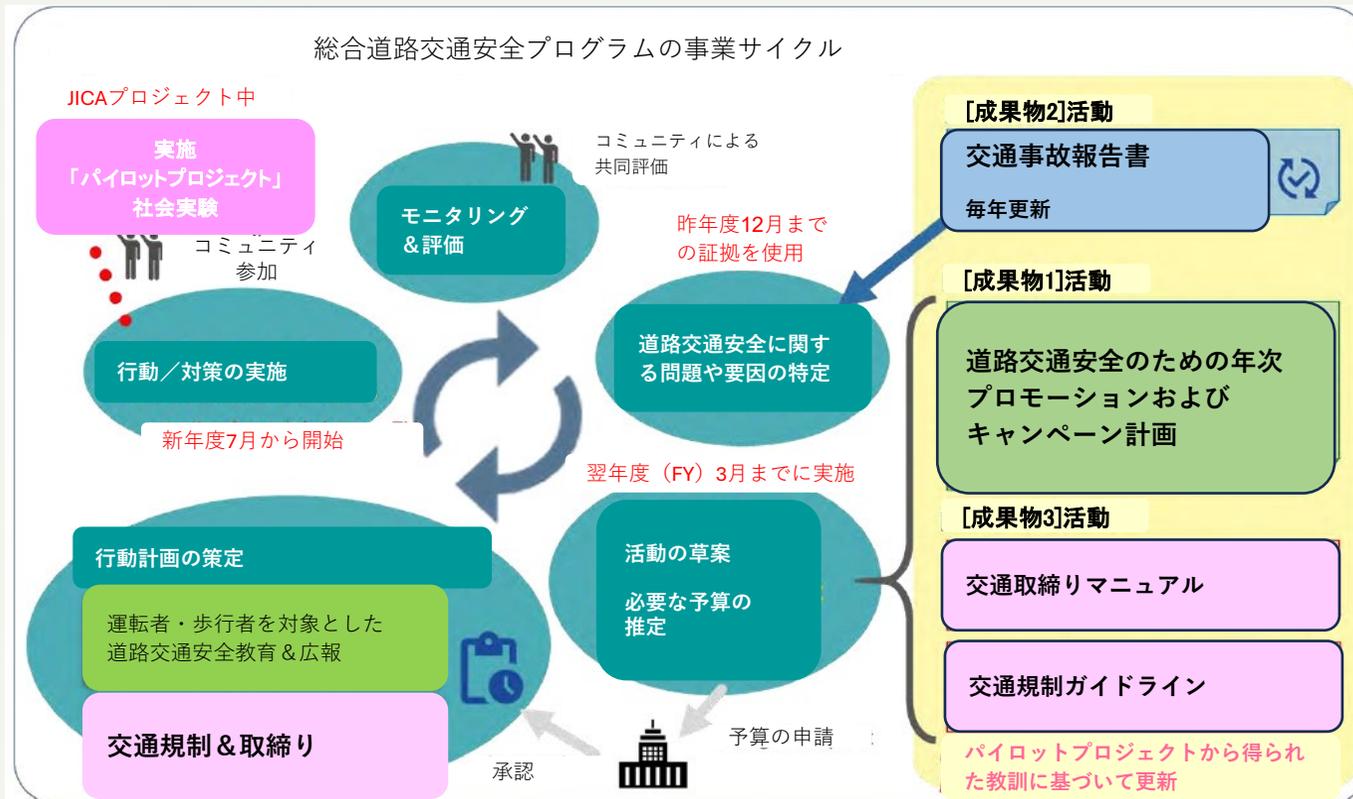
来日による研
修状況

T/Cプロジェクト – バングラデッシュの事例

目的 DMPが包括的な道路交通安全対策をDMAで実施する能力の強化

カウンターパート ダッカ首都圏警察

- 成果
1. 交通安全**教育**と広報の能力を強化
 2. 交通事故を報告／**分析**する能力を強化
 3. 交通安全対策、交通規制**規制**、および交通**取締り**を計画・実施する能力を強化



交通安全に関するJICAの協力戦略

道路交通安全クラスターに関する公式戦略は、以下リンクよりご覧ください

https://www.jica.go.jp/activities/issues/transport/_icsFiles/afieldfile/2024/04/23/cluster240423.pdf

取締り

課題：経験豊富な警察がJICAの専門家として参画

交通工学

インフラ

JICAの強み

車両

自動車産業のイノベーション次第

安全教育

子供

課題：JICAの協力期間が足りていない

運転手

自動車産業が教育活動を実施

緊急

課題：経験豊富な専門家の参画

ご清聴ありがとうございました

国際協力機構（JICA）

<https://www.jica.go.jp/>

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
電話番号：+81-3-5226-6660から6663

